## 「生産現場の問題解決」

開催日時: 令和7年10月14日(火)9:30~16:30 (申込締切日: 令和7年9月22日(月))

訓練会場:ポリテクセンター延岡

カリキュラム内容

推奨対象者 中堅層

生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得する。 ねらい:

基本項目	主な内容
1 生産活動の基本	<ul><li>(1) 生産活動の基本 リーダーとして知っておきたい生産活動の基本を理解する</li><li>(2) 生産管理の基本と円滑な運用のためには 生産管理の基本および、「今どきのコミュニケーション」や「一体感 のある組織づくり」についても紹介する</li></ul>
2 現状分析とムダの発見	<ul> <li>(1)価値とは、ムダとは 価値業務とムダの違いを理解し、現状分析に役立つIE手法を学ぶ</li> <li>(2)気づきの感度を上げるためには いつもとの違いを感じる「気づきの感度」向上の必要性を理解する</li> <li>(3)自職場のムダ探し 動作経済の原則などのムダを見つけるための視点を知る 【演習】価値とムダ…自職場のムダ発見の進め方を学ぶ</li> </ul>
3 生産現場の改善	<ul> <li>(1) 改善活動のストーリー 効果的な改善活動のための問題解決型ストーリーを学ぶ</li> <li>(2) 統計的データのとり方とQC7つ道具について 正しいデータのとり方、扱い方を理解し、QC7つ道具の活用を学ぶ 【演習】QC7つ道具の活用…グループワークでグラフ活用を学ぶ</li> <li>(3) 原因追究のためのなぜなぜ分析とは 問題の掘り下げから真因追究のポイントを理解する 【演習】なぜなぜ分析…例題を通じて真因追究の考え方を学ぶ</li> </ul>

※受講者の当日のご様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

2 講師紹介



## 岩崎 株式会社テクノ経営総合研究所

電機メーカーのプロセスエンジニアとして新製品の研究開発から量産導入を実施。工場部門の作 業標準化、工程安定化、品質向上等の現場活動を推進する。現在はコンサルタントとして製造業を 中心に品質改善やコスト削減などの現場改善や人財育成を支援している。

## カリキュラム作成のポイント・ひとこと

単に基本的な知識を学ぶだけではなく、それを自分たちの職場にどのように落とし込んだらよいか という具体的な進め方を講義と演習を組みわせることによって理解を深め、「単に知っている、理 解している」から「やっている、できている」と感じることができるようになるためのカリキュラ 厶です。



【お問合せ先】

〒880-0916 宮崎市大字恒久4241番地 Mail: miyazaki-poly03@jeed.go.jp

TEL: 0985-51-2381 FAX: 0985-51-1509